

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	竹田 宜人（北海道大学大学院工学研究院）
② 立候補の理由と 抱負（400字程度）	リスクマネージャ担当理事として、第6期以降リスクマネージャ制度の再構築についてリスクマネージャ委員会及び社団法人リスクマネージャネットワークの皆様と検討を進めてきました。その結果、2024年度から市民向け情報提供とリスクマネージャ継続教育を兼ねた養成講座を開催し、新規リスクマネージャの教育登録事業を開始することで合意いたしました。様々な観点から、本件に係っていただいた皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。次期は、集大成として新養成講座を軌道に乗せるとともに、リスクマネージャ制度を社会に向けた学会からの情報発信の取り組みとして発展させ、学会のプレゼンスを高めたいと思います。また、リスクコミュニケーションの研究活動の進展のため、タスクグループにおける議論がより活発化するような活動をしていきたいと考えています。よろしくお願いたします。
③ 本学会における 活動歴	第5期から理事を拝命させて戴いており、33、34大会実行委員会委員、36年次大会は実行委員長を務めさせて戴きました。また、リスクコミュニケーション事例研究TGにおける研究活動も継続しています。
④ 研究歴・職歴等 （100字以内）	化学物質のリスク評価、リスクコミュニケーションを基本に、原子力関連施設や工場等の施設立地や土壌汚染に係る地域対話等を実践面から研究を進めています。

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	竹田 宜人
② 推薦者の 姓名と所属	上野雄史（静岡県立大学）
③ 推薦理由 （400字程度）	<p>竹田氏はリスクマネージャ担当理事として、長年の懸案であった市民向け情報提供とリスクマネージャ継続教育を兼ねた養成講座の実施に関してリスクマネージャネットワークをはじめとする関係者とその実施について合意に至りました。次期において、その具体化と定着に期待します。また、2023年度の日本リスク学会年次大会でも実行委員長として中心的な役割を担い、大会を成功裏に終わらせました。</p> <p>竹田氏はリスク・コミュニケーション事例研究TGの活動を外部資金の獲得により発展させるなどリスクコミュニケーションに関する実践面からの研究活動も精力的に継続しており、それらの成果と経験を踏まえた学会活動への貢献も期待できることから、本学会理事候補者として推薦します。</p>